

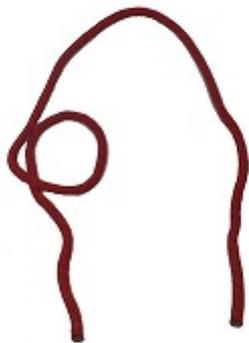
レスキュー講習 事前学習資料

ロープワーク

講習で使用するノットの種類とその作り方をご紹介します。事前学習として以下の項目を確認しておいて下さい。

●もやい結び（ポーラインノット）

もやい結びは別名ノットの王様と呼ばれる結び方です。多様なシチュエーションで活用できる実用的なノットになります



【その1】まず、片側に輪を作ります



【その2】反対側をその輪に下から通します



【その3】 さらに片側のロープの下を通し、輪の中に戻します



【その4】 完成～



●8の字結び（フィギュアエイトオンアバイト）
最も使用頻度の高いノットです。



【その1】ロープを折り返して二重にします



【その2】そのまま8の字を描くように上から下にロープを通し



【その3】その時出来た輪の中にロープを入れます



※ポイント 最後にロープをきれいに仕上げましょう

●蝶結び（バタフライノット）

ロープの中間にカラビナ等を引っ掛ける際に輪を作成する事ができます



【その1】ここでは手を使って説明します。まず、二回巻きつけます



【その2】このように三回目は真ん中に巻く様にして





【その3】一番先頭にあるロープを取り、一番奥にあるロープの下からくぐらせます



【その4】両側から引っ張って完成です

- 2重テグス結び（ダブルフィッシャーマンズノット）
プルジックを結ぶ時に使います。



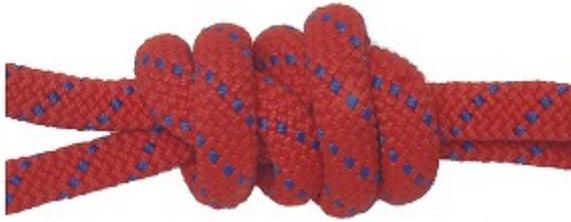
【その1】外→内に二回巻きます



【その2】先端を通してしっかり締めます



【その3】反対側も同じく締めて



【その4】両方を引っ張ります 完成！